

# バイオマス材料の開発と応用



ーインク、コーティング剤、粘着・ラベルー

●日 時: 2021年9月10日(金) 10:00~16:45 ●聴講料: 1名につき 66,000円(消費税込、資料付)  
 ●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

## 1. 環境対応型樹脂の開発と各種用途展開

大成ファインケミカル(株) 樹脂事業部 技術グループ  
 課長 朝田 泰広 氏

**【習得できる知識】**  
 ・ラジカル重合の基本技術  
 ・バイオマスアクリル樹脂の設計(油性、水性、紫外線硬化型樹脂)  
 ・バイオマスウレタンアクリレートの樹脂設計及び物性  
**【講座の趣旨】** ラジカル重合の基本技術の解説を基本として環境対応型素材としてバイオマスアクリル樹脂(紫外線硬化型)の設計方法及び物性それらを用いた用途例についてわかりやすく説明し、水性UV(ウレタンディスパージョン)及びバイオマスウレタンアクリレートの樹脂設計及び物性についても合わせて解説する。

1. バイオマス樹脂の市場動向 [10:00-11:30]  
 1.1 バイオマス樹脂の種類と原料  
 2. 樹脂設計  
 2.1 ラジカル重合技術(油性)  
 2.2 ラジカル重合技術(水性)  
 2.3 バイオマスアクリル樹脂の設計  
 2.4 紫外線硬化型バイオマスアクリル樹脂の設計  
 2.5 ウレタンアクリレートの設計  
 2.6 バイオマスウレタンアクリレートの設計  
 2.7 水性UV(ウレタンディスパージョン)の設計  
 3. 物性例及びコーティング材としての用途展開例  
 3.1 バイオマス度の測定  
 3.2 バイオマスアクリルの基本物性(油性)  
 3.3 バイオマスアクリルの基本物性(水性)  
 3.4 紫外線硬化型アクリル樹脂の基本物性  
 3.5 バイオマスウレタンアクリレートの基本物性  
 3.6 水性UV(ウレタンディスパージョン)の基本物性  
 4. 今後の動向 【質疑応答】

## 2. バイオ由来化合物「β-フルネセン」を活用した新規エラストマーの開発と粘接着剤への応用

(株)クラレ エラストマー事業部  
 エラストマー研究開発部 上野 慶和 氏

1. 液状フルネセンゴム(LFR)の特長 [12:15-13:45]  
 1.1 液状フルネセンゴム(LFR)の特長

- 1.2 液状フルネセンゴム(LFR)の粘着・シーラントへの応用  
 2. 水添スチレン系熱可塑性エラストマーへの適用  
 2.1 「セプトン」BIO-シリーズの特長  
 2.2 「セプトン」BIO-シリーズの応用物性 【質疑応答】

## 3. 環境対応素材を用いた粘着ラベルの設計と応用

王子タック(株) 開発部 部長 塚田 力 氏

地球温暖化問題、海洋プラスチック問題の対策として、プラスチック製品はバイオマス樹脂や生分解樹脂等への置換えを目指し、急ピッチで素材の開発が進められているが、商品の表示をする粘着ラベルも同様に置換えが進められている。用途例を交えながら解説する。

1. 粘着ラベルにおける環境対応 [14:00~15:30]  
 1.1 粘着ラベルについて  
 1.2 粘着ラベルの環境対応  
 2. 環境対応粘着ラベルの設計  
 2.1 生分解性フィルムタック  
 2.2 再生PETフィルムタック  
 2.3 バイオマスフィルムタック  
 2.4 容器等のリサイクル支援製品  
 2.5 フィルムタックから紙タックへの帰帰 【質疑応答】

## 4. 容器包装へのバイオマス材料採用の取り組み

アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所  
 容器包装グループ 包装技術チーム 和田 聡太 氏

アサヒ飲料は、持続可能な容器包装の実現に向けて、①リサイクルPET・環境配慮素材の使用、②リデュース、③環境に配慮した新容器開発の3つの目標を策定した『容器包装2030』を制定し、人にも環境にも優しい持続可能な容器包装を目指してさまざまなアプローチで取り組んでいる。ここでは、アサヒ飲料における環境負荷低減に向けた取り組み事例として、植物由来原料を使用した資材の展開について述べる。

1. オールバイオマス素材の「三ツ矢サイダーPET1.5L」の展開概要 [15:45~16:45]  
 2. ラベルの高バイオマス化の追求  
 3. バイオマスインキの選定  
 4. ライスインキ印刷PLAロールラベル化の検討  
 5. PETボトル用樹脂キャップの軽量化 【質疑応答】

## 講師紹介割引申込書

「バイオマス材料」セミナー No.109206 9/10

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。
- ・当社(技術情報協会)への直接のお申込みに関り、割引を適用いたします。

会社名			事業所・事業部	
住所	〒			
TEL			FAX	
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail	
受講者1				
受講者2				
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [ 郵送(宅配便)・FAX・e-mail ]				
個人情報の利用目的				
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため		
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします				



申込専用FAX 03-5436-5080

- 申込方法
1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
  2. お申し込み後はキャンセルできません。受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります。